

2017年(H29年)

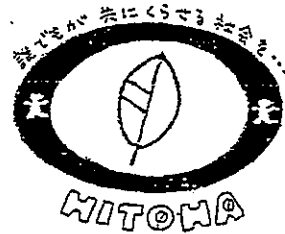
12月

No. 314

# ひとはつうしん

(ホームページアドレス) <http://hitoha-fukushi.com>

(メールアドレス) [honbu@hitoha-fukushi.com](mailto:honbu@hitoha-fukushi.com)



社会福祉法人 ひとは福社会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

TEL (0826) 46-2960 FAX (0826) 46-7230

- 気が付けば12月というのが率直な感想ですが、今年も終わりの月を迎えられた。皆さんいかがお過ごしでしょうか。
- 今年も矢継ぎ早と言ってもよいほど、耳を疑うような悲惨な事故が続きました。「平和の反対概念は暴力である。一つに戦争、二つに貧困・飢餓、三つに公害」その他の環境問題、四つに抑圧ことに「人権政治的自由の抑圧」(坂本義和)であるならば、現代社会は決して平和とは言えない状況にあると懸念します。
- 福祉の現状を見渡しても、障害者権利条約、差別解消法、虐待防止法等々建前の環境整備はできたにもかかわらず、相も変わらず悲惨な事件は続発しています。あまりにもいろんな事件が続くため一つ一つの事件を振り返る暇さえないような有様です。そのためにその本質が探られずに忘れ去られてしまっているように思います。
- 虐待問題にしても、どれ一つとて「ひとはと無関係」と片付ける訳にはいかないので、その病根は福祉の現場に巣食っているように思います。
- ひとはにとって利用している人たちの人権の尊重は言までもないことですが、「ではどこまで実践できているか」と自問自答すれば、本当に心もとない限りです。ではどうするか?
- 地道に地道に、一人一人の声を聴く力を身につける努力を絶え間なく続けていきたいと思っています。そして、その声を社会に向けて発信していきたいと思っています。その積み重ねこそひとはが目指す「誰でもが共に」への唯一の道と確信します。
- 機会があればひとはにお寄りください。来年もぜひひとほに力を貸してください。
- 清々しい新年を迎えられますよう祈念しています。  
(理事長 寺尾 文尚)

ひとはぼ、ここで過ごす学校代休日は、放課後も長期休暇と違って少人数でいつもと違う活動ができる日です。セリタリ事や食べたいものなど、意見を出し合っ代休日の過ごし方を考えています。中高生になると、自分たちで学校の年間予定表を見ながら相談をし「この代休日はカラオケに...」「この日は電車で...」と、半年前から計画を立てていました。中には何をしたらいいのかわからないという子も、いくつかの提案の中から選んだり、他の子の計画に便乗したりして、はじめての体験や、新たな趣味の発見に繋がることもありました。



(ひとはぼこ 三村 知美)

行

事

予

定



12



9(土) ハニーズライブ (13:00~)

20(水) トルパイト教室 (14:00~)

23(土祝) X'mas Live (14:00~)

・minCO&サナ・シロイロ  
・アロマセラピー・吹きガラスの  
・松の葉がラス



\* 年末年始休業 \*

12/29(金)~

1/4(木)

さき亭・ひとは館とも  
お休みします。

月

# ひとはの

# Q

イケメンなお客様に「仮面ライダーみたいな♡ EXILEみたいな♡」と目を輝かせる高森さん。そんな言葉をかけてもらったお客様は、照れながらもにっこり。その場を心地良くしてくれます。先日、イケメンなお客様を発見！いつものセリフを交わし、そわそわし始めた高森さん。なんと自ら「こんにちは」と!? いつもはチラ見しかできない高森さんには考えられない行動でした。ニタニタ見ていた私に「フワッ」と笑い、その後も♡に輝かせた目を向けてながら仕事をやる高森さんでした。(さつき亭 貞清 直子)

久しぶりにスタッフとして戻って来られた岩田さん。お得意の遊び(いけずら!)を岩田さんと楽しそうにする増長さんも、お茶に誘われおしゃべりに花を咲かす寺尾さん。スタッフの入れ替わりがあっても岩田さんがいれば活動力は大丈夫と、あるスタッフが以前話をされていたほど頼りになる方です。岩田さんといえば笑い声が代名詞。岩田さんの笑い声を聞けば安心するきららの仲間、スタッフはたくさんいらっしやる私には思っています。(事務 竹内宏美)

いつもはテレビや雑誌を見てもほとんど笑わなかったHさん。先日、お兄さんと話をする機会がありました。以前はよく一休さんを観ていたと聞き、翌日携帯で一休さんのオープニング曲を流してみると、ウトウトしていたHさんが徐々に目を覚まし、最後には笑顔で声を出すほどでした。僕自身もこれほどの反応が返ってくるとは思っておらず、今では一緒に一休さんを観るのが日課になっています。(英同ホム 山崎 真志郎)

## 「日常の一幕」

3月中旬から働かせて頂いている新米の私は、毎日が緊張です。先日も鉄板に山盛りになつたかりんとうを、同じ鉄板の中で必死に選り分けていました。すると、Aさんが、別の鉄板にフッキングシートを敷いて「これに選り分けた良いかりんとうを入れると、作業が楽だよ。」と笑顔で私に鉄板を渡してくれました。Aさんのさりげない優しさに心がほっこり温まり、緊張はほぐれて作業がはかばかしました。Aさん「ありがとう。」私はAさんに救われました。(款岸センターあっぱ 瀧野 由美子)



10月にあっぱのおでかけがあり、行く前にきららの仲間のWさんが「越智さんお土産買ってくるね〜。」と言ってくれたので「お〜、ありがとう〜。買えたらいいからね〜。」と返事をしました。おでかけから帰ってきて、ニコニコとした笑顔で「お土産買って来たよ〜!」と渡してくれました。「ありがとう。」と伝えた後「それと、あとこれも!!」と言われて受け取ると、なんと復讐書! 手渡された越智の頭は??だらけでした。「Wさん、これはお金を払う、という事?」と聞くと「そうよ〜!!」と満面の笑顔でした。それでも、しっかりとお土産を選んでくれた事はとても嬉しく感じ、一連のやり取りを見ていた作業所事務所は大爆笑に包まれました。(ひとは作業所 越智 修)

